

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年2月16日

事業所名

LINO

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動内容に合わせて、児発、放デイの仕切り(パーティション)を外し、広くしている。また、多目的室や公園等を活用している。	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・事業所内のバリアフリー化はされている。	・テナントビルで開所している為、共有スペースにおいては設備面でのバリアフリー化は困難な状況であるが、安全面に配慮して支援を行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・清潔で心地よく過ごせる環境を提供するために、消毒、清掃は徹底して行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・朝のミーティングや職員会議等を活用して、目標設定と振り返りを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・昨年度の評価表(ご意見を踏まえた対応)を基に業務改善につなげることができた。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページ(lino2020.jp)で公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・第三者による外部評価は行っていない。	・今後、第三者による外部評価の実施を検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・ABA研修を職員会議にて実施している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・アセスメントツールを活用し、個別支援計画書に反映させている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・黒澤礼子氏監修のアセスメントツール総合版を使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を選択し、その上で、具体的な支援内容を設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・計画的に実施している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・計画的に実施している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・偏ったプログラムにならないよう、前月、前々月のプログラムを見合わせながら月間プログラムを立てるよう配慮している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・子どもの特性に応じた個別支援計画書を作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・活動終了後、又は朝礼時に必ず打ち合わせを行い、スムーズに活動を行い、丁寧な支援を心掛けている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・活動内容、個別の気づきに対しての振り返りを行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・支援ソフトを活用し、日々の活動の様子を記録している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・評価会議を実施し、支援の必要性や見直し等を行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児発管や担当職員が会議に参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて、関係機関との連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・医療的ケアが必要な子どもの関係機関と連携を図り、情報を共有しながら支援を行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・医療的ケアが必要な子どもに対しては、連絡体制を整えており、医師の指示書を基に支援を行っている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・担当職員が訪問等を行い、情報共有して連携した支援を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行支援シート(夢すこやかファイル)を作成し、情報共有を行うことができた。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・外出は行っているが、他者との交流は行っていない。(コロナの為)	・併行通園をされている利用児が多く、交流等の活動を設けていない。未就園児は、コロナの状況を見ながら交流を図っていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・引継ぎや連絡アプリ、電話にて、育児に関する助言等の支援を行っている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・園長と語ろう会を実施し、保護者の子育てに関する相談・悩み等に対し、親業における子育てのアドバイスを行った。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に重要事項説明書の説明・交付を行い、保護者より同意(捺印・署名)を頂いている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・個別支援計画作成後、保護者へ説明・交付を行い、同意(捺印・署名)を頂いている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・定期的に育児に対する悩み、困り感等、保護者へ聞き取りを行い、助言やアドバイスをしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・「園長と語ろう会」を開催した。育児に対する悩み、困り感等、保護者同士話し合いができる機会を提供し、助言やアドバイスをを行った。今後も定期的に開催を予定している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・保護者より相談があった際、迅速に対応を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月、LINE通信やホームページに掲載している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・写真掲載同意書を基に個人情報に十分配慮している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・個々に応じて、伝達手段を工夫して対応している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・当テナントビル内で地域交流活動(ハロウィン)を実施した。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・火災、風水害、地震、不審者マニュアルに基づいて避難訓練を実施している。また、保護者の方へ報告している。 ・感染症対応については、ホームページに掲載している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年間計画を基に、月に1回実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・各種依頼書を作成し、提出していただいている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・アレルギーについて、聞き取りを行っている。また、アレルギーのあるお子さんについては医師の指示書の提出をお願いしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット報告書を作成し、全職員が共有し、再発防止に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・研修等を通して、虐待防止に繋がる支援の方法等を職員間で共有することができている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・身体拘束同意書の説明を行い、同意(捺印・署名)を頂いている。	